

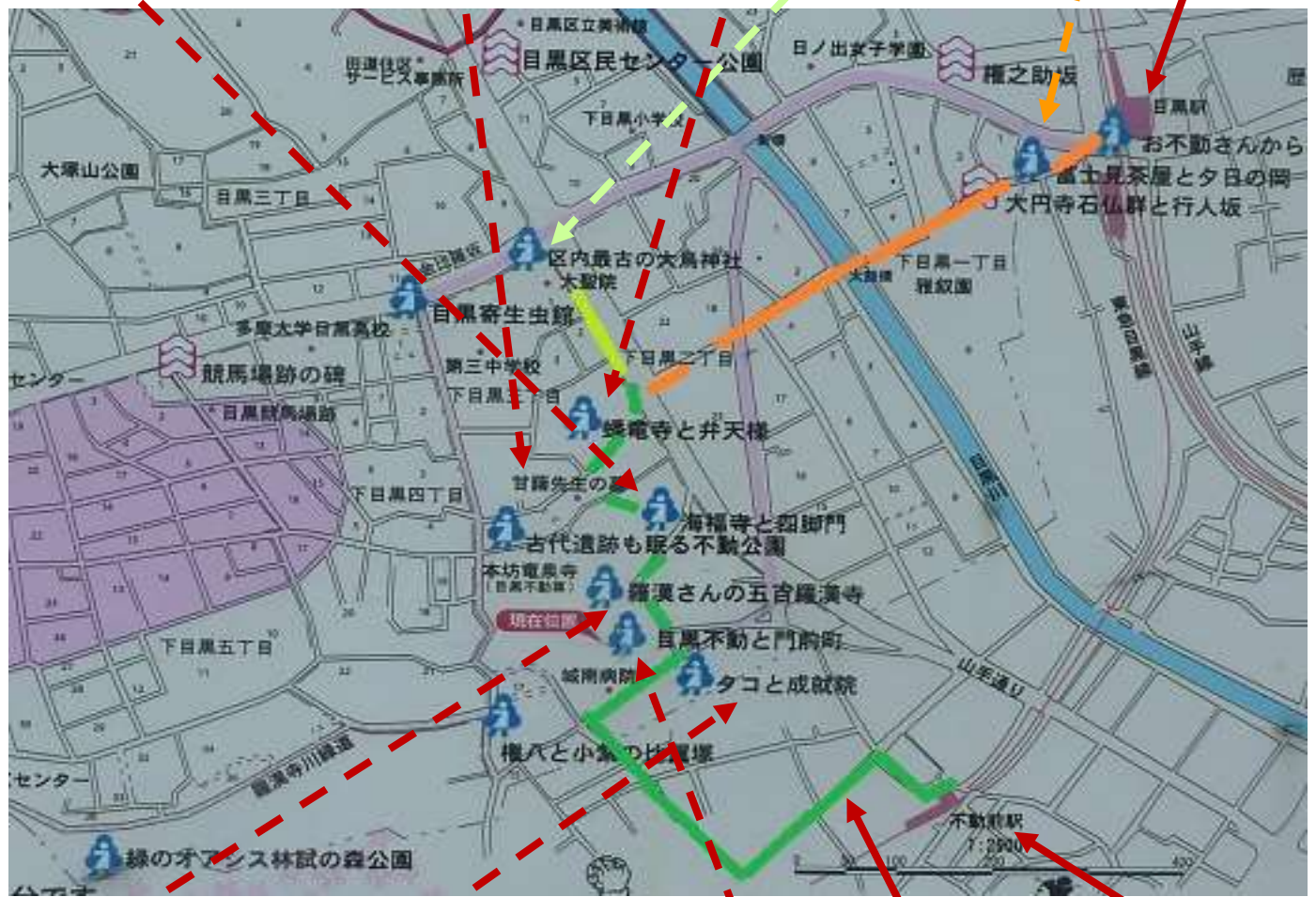
⑨ 江戸時代隆盛を極めた目黒不動 散策ガイド

更新 2019年9月18日 kumagai

催行日：2019年10月2日（水） 集合：東急目黒線 不動前駅入口辺り

行程：不動前駅（東急目黒線）⇒ かむろ坂通り ⇒ ①目黒不動（瀧泉寺）⇒ ②タコと成就院 ⇒
 ③五百羅漢寺 ⇒ ④海福寺 ⇒ ⑤青木昆陽の墓 ⇒ ⑥幡竜寺（解散：最寄り駅 JR・東急
 目黒線目黒駅） オプション①：大鳥神社 オプション②：大円寺と行人坂

中川駅 8:33 発～センター北 8:41 発（グリーンライン）～日吉 8:59 発（目黒線各駅） 不動前 9:20 着
 中川駅 8:42 発～センター北 8:47 発（グリーンライン）～日吉 9:07 発（目黒線各駅） 不動前 9:27 着



今回のコースは、1ページの地図の緑のラインです。オプションコースは、薄緑色と橙色のライン。400メートル四方に密集しており、歩く距離は短いですが、一寺一寺、見どころがあり、あっという間に時間が経ちます。グループ内で見学時間を申し合わせしましょう。

東急目黒線不動前駅から緩いかむろ坂を上り、かむろ坂上の交差点を右折し道なり行くと、①目黒不動（瀧泉寺）⇒②タコの成就院⇒③五百羅漢寺⇒④海福寺⇒⑤青木昆陽の墓⇒⑥幡竜寺のコースです。（幡竜寺で解散：最寄り駅は目黒駅ですが、途中登り坂があり15分ぐらいか。また、目黒不動と五百羅漢寺は、見どころ多く30分以上ほしいところ）時間や体力に余力のある方は、オプション1：大鳥神社、オプション2：大円寺と行人坂へ。尚、トイレは、各お寺さんにあります。

① 目黒不動へ向かいます。

東急目黒線不動駅前から、かむろ坂通りに出ます。不動前駅を出て道なりに5分くらい行くと、交差点です。右側に牛丼の松屋があります。その交差点を左折し、緩い上り坂のかむろ坂通りを進みます。途中左側に小学校があります。かむろ坂通りを上り切ったところが、かむろ坂上の交差点です。かむろ坂の言われが刻まれたガイド板がたっています。かむろ坂上の交差点を右折し、道なりに緩い坂を下っていくと、途中に参道入口を示す柱がたっており、そのまま進むと小さな交差点があります。その交差点を直進すると目黒不動（瀧泉寺）の山門です。水かけ不動明王像、大日如来坐像、青木昆陽の像などがあります。



東急目黒線 不動前駅



かむろ坂通りの交差点



かむろ坂上の交差点



江
戸
時
代
鳥
取
藩
の
平
井
権
八
と
遊
女
小
柴
に
関
わ
る
言
い
伝
え



目黒不動参道の入口の柱



目黒不動の山門



水かけ不動明王



本堂の裏に大日如来座像



青木昆陽のサツマイモ畑

② タコの成就院に向かいます。

目黒不動の山門を出て、小さな交差点を左折します。5分ぐらいで右側に成就院が見えます。平安2年（858）慈覚大師の開山で、本尊は、薬師如来像です。俗に蛸薬師と言われ、疫病除けの仏として人々にあがめられています。



目黒不動の山門出てすぐの交差点



タコと成就院の入口



ありがたや福をすいとる

③ 五百羅漢寺に参ります。（拝観料 200 円 準備願います）

タコの成就院を出て道路を右側に少し進み左折します。100メートルぐらい直進すると左側に五百羅漢寺の入口が見えます。入口には、五百羅漢の一つ 不退法尊者の像が迎えてくれます。（苦しさに負けず、いつも心明るく、最善を尽くす）

五百羅漢寺は、元禄8年（1695）鉄眼禅師が本所で開山しました。明示41年（1908）現在の目黒に移されました。釈迦三尊像と五百羅漢像 305 体が安置されています。五百羅漢像の一つ一つに言葉があります。（一期一会の言葉もありました。）



五百羅漢寺入口の不退法尊者像



五百羅漢像（パンフレット引用）



原爆の碑（新劇のさくら隊）

④ 次の目的地、海福寺へ向かいます。

五百羅漢寺を出て道路を左に10メートルぐらい進むと左側に海福寺の入口です。海福寺の石の大きな表札と提灯が目印です。そこから、15メートルぐらい進むと山門です。

中国の明から来た黄檗宗、隠元隆崎が万治元年（1658）に創建し明治43年（1910）この地に移りました。西欧・シルクロードのデザインを取り入れた墓地の壁画などがあります。



海福寺の入口



文化4年永代橋崩落供養塔



開祖 明の隠元隆崎、黄檗宗から大胆な西欧の様式を取り入れている墓地。

⑤ 青木昆陽の墓

青木昆陽の墓は、海福寺の墓地を抜けたところにあります。

海福寺の本堂裏の通路を通り、墓地を上に向かい、錠の掛かっている門扉を抜け、右側に10メートルぐらいのところに青木昆陽の墓があります。

青木昆陽は、江戸時代中期の儒学者です。名奉行大岡越前の知遇を得て、幕府の図書管理や収集などを行う書物奉行の要職に就きました。京保17年(1732)に畿内以西を襲った京保の飢饉の惨状を見た昆陽は、「蕃諸考(ばんしょこう)」を著し、多くの農民にさつまいもの栽培方法を教えました。



海福寺の墓地側の門扉



青木昆陽の墓



甘諸先生(サツマイモ)
甘諸流転して天下して
飢うる人無しからむ
是が予が願いなり

⑥ 幡竜寺 (ここで解散です。余力のある方は、オプションにお進みください。)

青木昆陽の墓を正面に見て右側の細い道を降ります。突き当たりを左折し20メートルぐらいで幡竜寺の入口が見えます。そこに入って15メートルぐらいで幡竜寺の山門です。

江戸時代中期、江戸では大地震や火事が相次ぎ、人々は不安の渦中にありました。そこで霊雲上人は、江戸の裏鬼門を守る岩屋の弁財天を供養するのがよいと考え、宝永6年(1709)行人坂の称明院を、この地に移し「霊雲山称明院幡龍寺」と改名し再建しました。



青木昆陽の墓から右側下る



幡竜寺の入口



幡竜寺のおしろい地蔵

⑦ オプション1. 大鳥神社は、幡竜寺を出て左折し200メートルぐらいの所です。

⑧ オプション2. 大円寺と行人坂は、幡竜寺から山手通りを越え目黒駅方面の右側にあります。



大円寺 入口



大円寺の石仏群



大円寺の石仏群2



金箔の釈迦如来像